

国土交通省・運輸安全委員会ニュースレターの特集号  
「読者アンケート結果」について、ご案内

このたび標記につきまして、来報に接しましたのでご案内致します。

尚、詳細等につきましては、以下にご照会願います。

★運輸安全委員会ホームページはこちら

<http://www.mlit.go.jp/jtsb/index.html>

★登録の解除・メールアドレスの変更・ご意見・ご感想等はこちらまで

[jtsb\\_analysis@mlit.go.jp](mailto:jtsb_analysis@mlit.go.jp)

平成21年11月26日

全国海運組合連合会

Safer Future ~ 安全な未来へ ~

# 運輸安全委員会ニュースレター 特集号

Japan Transport Safety Board Newsletter

## 運輸安全委員会ニュースレター読者アンケートについて

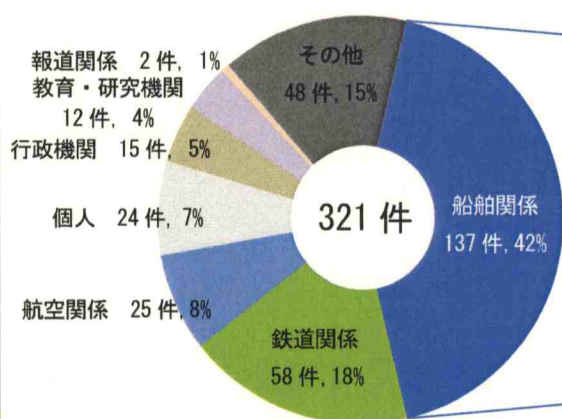
運輸安全委員会ニュースレター読者アンケートに 321 件ものご回答をいただき、ありがとうございました。本号ではその結果と同結果を踏まえた今後の改善点等を紹介いたします。

### ニュースレター読者アンケート実施概要

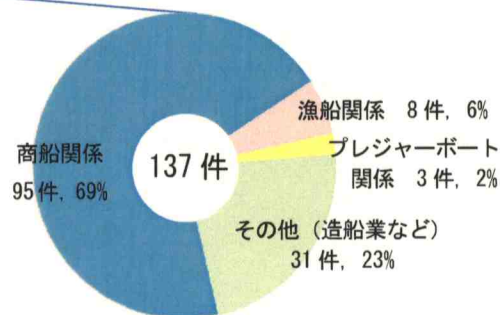
- ◆目的 ニュースレターのご利用実態とニーズを調査し、その結果を今後のニュースレターづくりに反映させるため
  - ◆期間 平成 21 年 7 月 30 日(木)～平成 21 年 10 月 30 日(金)
  - ◆調査対象 運輸安全委員会ニュースレター読者
  - ◆調査方法 ホームページへのアンケートフォームの掲載
- アンケートフォーム PDF → [http://www.mlit.go.jp/jtsb/bunseki-kankoubutu/jtsbnewsletter/jtsbnewsletter\\_FINo2/FINo2\\_pdf/questionnaire\\_pdf](http://www.mlit.go.jp/jtsb/bunseki-kankoubutu/jtsbnewsletter/jtsbnewsletter_FINo2/FINo2_pdf/questionnaire_pdf)
- ◆質問内容
    - Q1 ご所属先の業種等について
    - Q2 ニュースレターの入手方法について
    - Q3 ニュースレターのどの内容を中心にご覧になっていますか
    - Q4 ニュースレターをどのような用途で利用されていますか
    - Q5 Q4 に関し、その具体的利用方法について
    - Q6 ニュースレターを、ご所属以外に関係の企業・団体等に転送されていますか
    - Q7 ニュースレターで取り上げて欲しいテーマ、ニュースレターに対するご意見・ご要望等

## Q 回答者の業種等

回答総数及び業種内訳



船舶関係の内訳

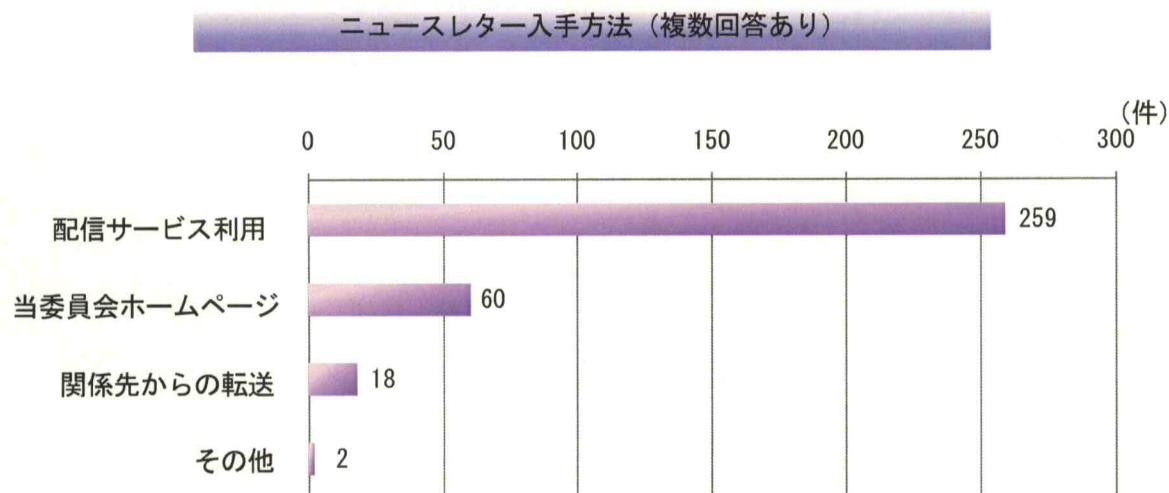


アンケート期間中にいただいた回答の総数は、321 件でした。業種別では船舶関係が最も多く 137 件で 42%を占めています。航空、鉄道、船舶以外の業種からの回答はあわせて 101 件で 32%を占め、その中には個人、行政機関のほか、建設業、エネルギー関係会社、自動車関係会社、気象関係団体等も含まれ、航空、鉄道、船舶関係者に限らず、運輸の安全性に対して関心が寄せられていることがうかがえます。

回答数の最も多かった船舶関係について、さらにその内訳をみると、商船関係が最も多く 95 件で 69%を占め、漁船関係は 8 件 6%、プレジャーボート関係は 3 件 2%となっています。

### Q ニュースレター入手方法

ニュースレターの入手方法については、配信サービスを利用しているという回答が 259 件と、最も多くなっています。



運輸安全委員会ニュースレター配信サービスにご登録いただきますと、ニュースレターの発行当日に PDF ファイルを送信いたします。また、ニュースレター以外に刊行物等を発行した場合、発行当日にお知らせメールを配信いたします。この機会にぜひご登録ください！

お申し込みはこちらから⇒ <http://www.mlit.go.jp/jtsb/haisin.html>

### Q ニュースレターのどの内容を中心にご覧になっていますか

航空、鉄道及び船舶事例を合わせた事例紹介が、359 件で最も多くなっています。記事ごとに業種別の割合をみると、事例紹介では、自身に関係する事例を見ている割合が高くなっています。トピックス、報告書公表一覧、事故等調査情報では、事例紹介ほど業種による偏りは見られず、回答者の割合とほぼ同じとなっています。

